

2018年3月期 第3四半期 連結決算ハイライト (IFRS)

■増収増益。四半期利益(親会社の所有者に帰属)は前年同期比49億円増と、約7割増益。

◇収益	5,209 億円	5.5% 増収
◇営業活動に係る利益	188 億円	23.5% 増益
◇親会社の所有者に帰属する四半期利益	122 億円	68.0% 増益

■通期見通しを150億円に上方修正し、中期ビジョン「VISION-130」は1年前倒しで達成へ。
■期末配当予想は27.5円に増配。(年間配当予想は45円)

(単位:億円)	損益の状況		前年同期比		2018/3期 通期 (2018年2月2日修正)	
	2017/3期 第3四半期	2018/3期 第3四半期	増減額	増減率	見通し	進捗率
収益	4,937	5,209	272	5.5%	7,000	74.4%
売上総利益	714	763	49	6.9%	-	-
販売費・一般管理費	△ 560	△ 574	△ 14	-	-	-
その他の収益・費用	△ 2	△ 1	1	-	-	-
営業活動に係る利益	152	188	36	23.5%	260	72.2%
利息収支	△ 14	△ 15	△ 1	-	-	-
受取配当金	8	6	△ 2	-	-	-
その他の金融収益・費用	△ 1	△ 10	△ 8	-	-	-
金融収益・費用	△ 7	△ 19	△ 12	-	-	-
持分法による投資損益	△ 5	14	19	-	-	-
税引前四半期利益	140	183	43	30.6%	250	73.2%
法人所得税費用	△ 52	△ 40	12	-	-	-
四半期利益	89	143	54	61.5%	-	-
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	73	122	49	68.0%	150	81.4%

【収益】
鉄鋼・素材・プラントセグメントを中心に、272億円の増収。

【営業活動に係る利益】
電子・デバイスを中心に全セグメントで増益となり、36億円の増益。

【親会社の所有者に帰属する四半期利益】
営業活動に係る利益の増加に加え、持分法による投資損益の良化や固定資産の譲渡決定に伴う税効果の良化等により、49億円の増益。

(注)1株当たり四半期利益:
10月1日付で株式併合(5株につき1株)しており、前期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定。

1株当たり四半期利益 (円)	86.41	145.07	58.66	-	178.22	-
----------------	-------	--------	-------	---	--------	---

(単位:億円)	収益			営業活動に係る利益		
	2017/3期 第3四半期	2018/3期 第3四半期	前年同期比 増減	2017/3期 第3四半期	2018/3期 第3四半期	前年同期比 増減
電子・デバイス	1,813	1,858	45	91	116	25
食料	1,714	1,747	33	22	29	7
鉄鋼・素材・プラント	927	1,100	173	12	23	11
車両・航空	392	405	14	19	22	3
報告セグメント合計	4,845	5,110	265	144	189	45
その他(含む調整額)	92	99	7	8	△ 2	△ 9
総合計	4,937	5,209	272	152	188	36

【電子・デバイス】増収増益
ICTソリューション事業は、製造業、サービス業向けを中心に堅調に推移。モバイル事業は、携帯電話販売代理店子会社の統合効果もあり順調に推移。半導体製造装置事業も、中国向け販売が拡大し順調に推移。

【食料】増収増益
食品事業は、堅調に推移。畜産事業は、若干減速したものの好調を維持。食糧事業も、国内飼料価格の回復により前年同期比改善。

【鉄鋼・素材・プラント】増収増益
北米における油井管事業は、原油価格の上昇を背景に大きく改善。機能性化学品事業やプラント事業も堅調に推移。

【車両・航空】増収増益
車両・車載部品事業は、堅調に推移。航空・宇宙事業も、宇宙関連や航空機部品取引を中心に堅調に推移。

(単位:億円)	資産・負債及び純資産の状況		前期末比	
	2017/3末	2017/12末	増減	増減率
総資産	4,797	5,159	362	7.5%
グロス有利子負債	1,338	1,341	3	0.2%
ネット有利子負債	554	605	51	9.2%
自己資本(注1)	1,004	1,153	149	14.9%
内、利益剰余金	346	442	97	27.9%
内、その他の資本の 構成要素合計	114	166	52	45.7%
自己資本比率(注2)	20.9%	22.3%	1.4pt上昇	-
ネットDER(注3)	0.55倍	0.53倍	-	-

(注1)自己資本は、資本の「親会社の所有者に帰属する持分」 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産 (注3)ネットDER=ネット有利子負債/自己資本

【総資産】
営業債権や棚卸資産の増加等により、362億円増加。

【有利子負債】
ネット有利子負債は51億円増加。

【自己資本】
自己資本は、利益剰余金の積上げ等により、149億円増加。

上記の結果、自己資本比率は22.3%、ネットDERは0.53倍に。

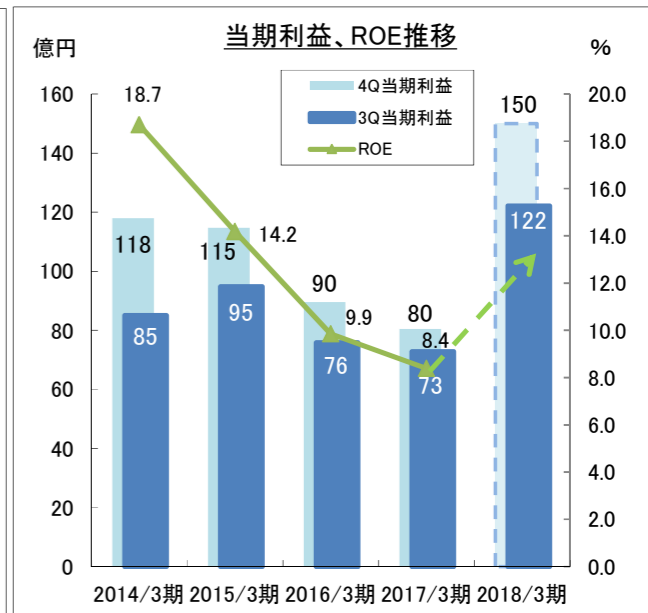
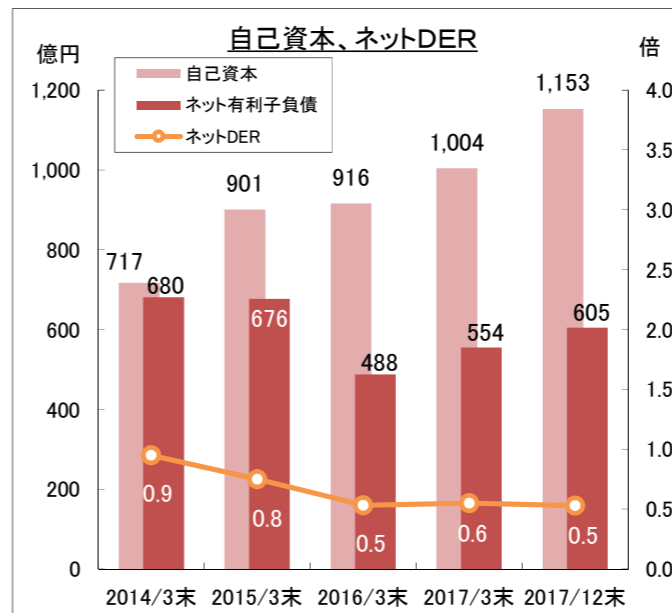
(単位:億円)	キャッシュ・フローの状況	
	2017/3期 第3四半期	2018/3期 第3四半期
営業活動によるCF	27	△ 11
投資活動によるCF	△ 142	△ 0
フリーキャッシュフロー	△ 115	△ 11
財務活動によるCF	△ 63	△ 39
現金・現金同等物の増減	△ 177	△ 50

【営業活動によるCF】
営業債権や棚卸資産の増加等により、11億円のキャッシュ・アウト。

【投資活動によるCF】
その他の金融資産の売却による収入があった一方、有形固定資産の取得や貸付金の実行等により、若干のキャッシュ・アウト。

【財務活動によるCF】
借入金の返済等により、39億円のキャッシュ・アウト。

配当の状況	
【2017/3期】	
中間配当	1株当たり 15.0 円
期末配当	1株当たり 15.0 円
年間配当	1株当たり 30.0 円
【2018/3期】	
中間配当	1株当たり 17.5 円
期末配当(予定)	1株当たり 27.5 円
年間配当(予定)	1株当たり 45.0 円
(注)前期および当中間期の配当額は、前期首において株式併合が行われたと仮定して算定。	
	2016/3期 2017/3期 2018/3期(予想)
連結配当性向	23.5% 31.4% 25.2%



*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
*記載の数値は億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値が異なる場合があります。